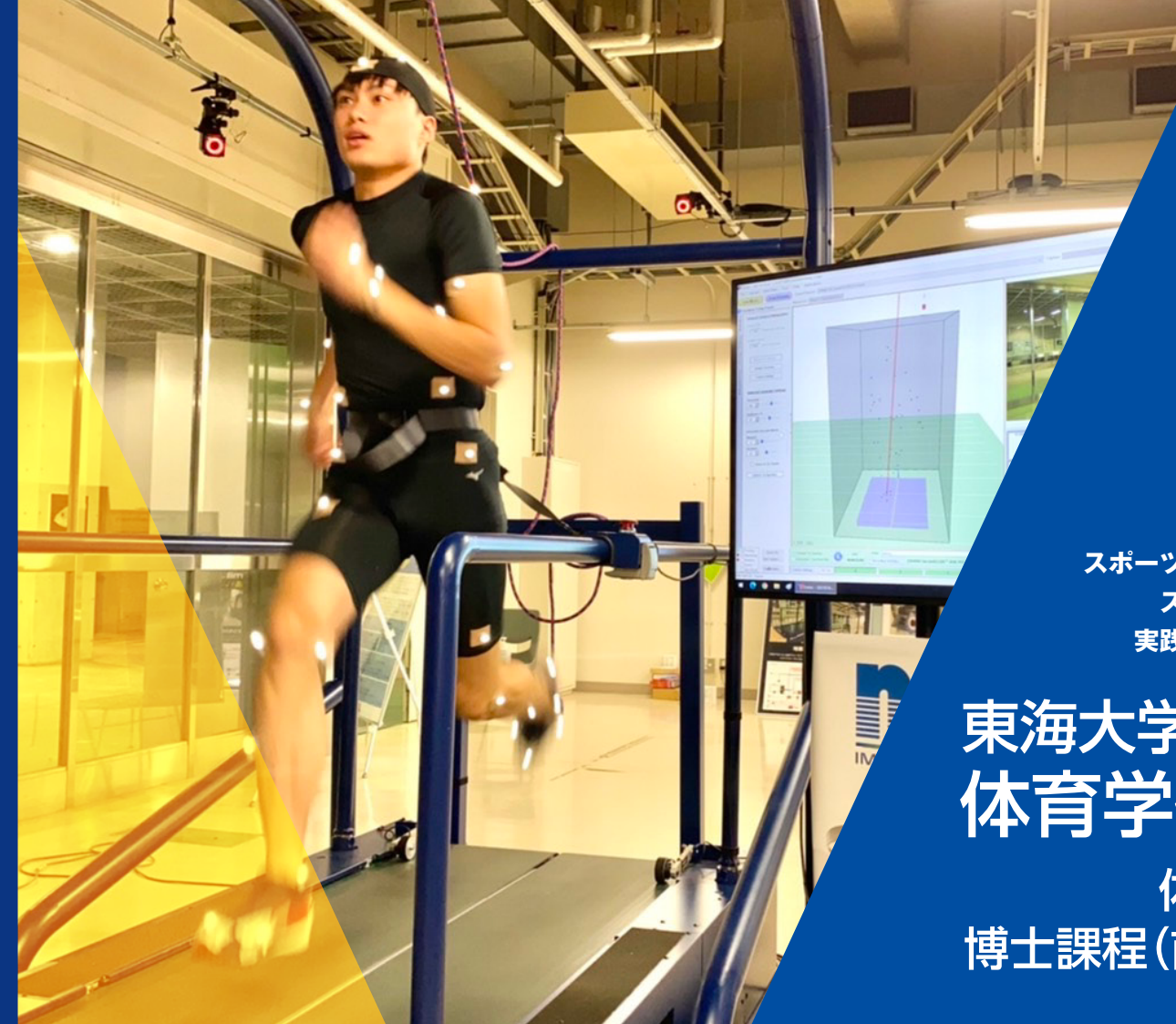




スポーツ文化社会科学領域
スポーツ医科学領域
実践スポーツ科学領域

東海大学 大学院 体育学研究科

体育学専攻
博士課程(前期・後期)



TOKAI UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF
PHYSICAL EDUCATION

2025
GUIDE BOOK



東海大学大学院 体育学研究科
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
TEL: 0463-58-1211(代表)
URL: <https://www.u-tokai.ac.jp/>

2024.3

MESSAGE



体育学研究科長
内山 秀一

体育・スポーツ科学は人の営みを基本とした研究領域ですが、科学技術の進歩に伴いその領域は様々な分野への広がりを見せています。当然ながら体育・スポーツそのものを研究する基礎研究は重要ですが、併せて他分野との連携研究も増加してきています。本研究科は幸い総合大学にあり、医学部、工学部、健康学部など共同研究の基盤が整っていることはこれからの体育・スポーツ学研究を推進していく上では大きなメリットと考えております。

また、大学として学生のスポーツ活動に力を入れており、高いレベルの競技者が集まっているとともに、指導者もトップレベルの教員が指導しております。この指導現場と研究を結び付け、より実践的に活用できる研究成果を蓄積しているのも特徴の一つです。研究を研究のために終わらせず、常に社会にどう還元できるかを考えて研究を進めています。

今、スポーツ界では、これからのスポーツ界をけん引する指導力と研究力を両方兼ね備えた高いレベルの人材が求められています。また他領域においても体育・スポーツの専門知識を持つ人材が活躍していくことで、体育・スポーツの本来の価値を社会に知らしめ、価値向上に貢献できる人材が期待されています。社会状況がどのように変化しようとも、人の営みとしての体育・スポーツの価値は変わりません。本研究科ではその価値を伝える人材の育成を目指しています。是非、その一人となってみませんか。皆様のチャレンジをお待ちしております。



体育学専攻長
松浪 稔

体育学研究科修士課程は1976年に創設されました。そして2021年、博士課程を設置。修士課程は博士課程前期となり、博士の学位を取得できる博士課程後期がスタートしました。名実ともに体育・スポーツ科学研究の最高峰の一つとなったのです。体育学研究科で学び、研究した仲間の多くが、世界で活躍しています。

体育学研究科体育学専攻では、「スポーツ文化社会科学」「スポーツ医科学」「実践スポーツ科学」の三つの領域から、体育・スポーツ科学にアプローチします。よって、多様な視点から体育・スポーツ・健康などにかかわる幅広い知識と教養、深い専門性を身につけることができます。そして創造性を備えた研究力を培い、深く体育・スポーツの真髄、真理を探究してほしいと思います。

現代社会において、スポーツは重要な役割を果たしています。政治、経済、教育、メディア、医学、健康などなど、スポーツは多様な視点、価値観を持ちながら、われわれの日常生活のあらゆる場面に影響を与えています。現代人はスポーツと共にあるのです。だからこそ世界のスポーツ文化の進展に貢献する人材を育成するのが体育学研究科の使命です。

多様に変化する現代社会だからこそ、体育・スポーツの持つ力が注目されます。体育・スポーツには世界を変える力があるのです。体育・スポーツと共に生きる。それが体育学研究科です。

東海大学大学院 体育学研究科

アドミッション・ポリシー

本学の「建学の精神」と、体育学研究科の教育・研究上の目的及び養成する人材像を理解し、自ら学ぶ意欲を持ち、十分な専門分野の基礎学力を有した者を国内外から広く受け入れます。

【博士課程前期】

1. 体育学分野の専門的な情報・知識を得るために必要な英語の語学力
2. 体育学分野の専門的な学修をするために必要な学部レベルの十分な基礎学力

【博士課程後期】

1. 体育・スポーツ科学領域の専門的な学修をするために必要な修士課程レベルの十分な基礎学力
2. 当該分野における極めて高度な知識・技能を有し、独創性・創造性に富んだテーマを持って研究を遂行する意欲
3. 研究により得られた知見や技術、及びその過程で得られた能力を社会へ還元する意欲
4. 体育・スポーツ科学領域の専門分野の情報・知識を得るために必要な英語の語学力

ADMISSION POLICY CURRICULUM

東海大学大学院 体育学研究科

カリキュラムの特長

課程前期

「スポーツ文化社会科学」、「スポーツ医科学」、「実践スポーツ科学」の各領域の概要、人文社会科学系と自然科学系の研究法の基礎を学修する。3つの科目区分において、学部で学んだ「体育・スポーツ科学」をさらに深化させた専門性を養う。

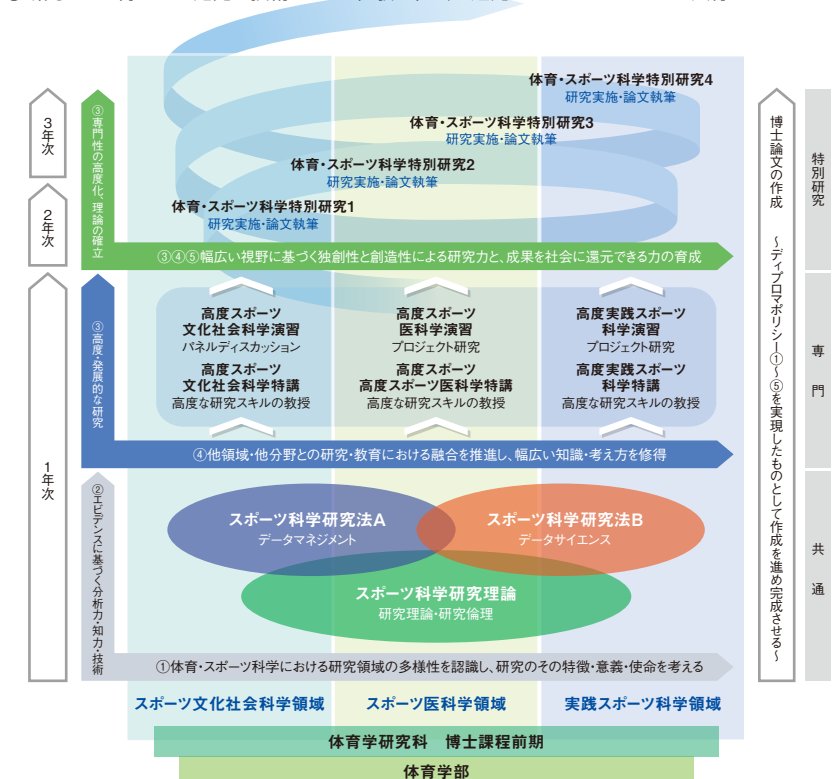
課程後期

修士課程(博士課程前期)の研究内容や高度解析技術を発展させて、体育・スポーツ科学の3領域(スポーツ文化社会科学領域、スポーツ医科学領域、実践スポーツ科学領域)の特講・演習科目の学びを通じて、高度な専門知識と技能、研究スキルを修得し、「特別研究」科目において独創性と創造性に富んだ研究力を身に付ける。

課程後期〈学位取得とカリキュラム〉イメージマップ

ディプロマポリシー

- ① 体育・スポーツ科学における研究領域の多様性を認識し、研究の特徴・意義・使命を考えることのできる人材
- ② エビデンスに基づく分析力・知力・技術を有し、自ら研究課題を見つけ、取り組むことができる人材
- ③ 高度な専門知識と技能を持ち、独創性と創造性に富んだ研究力を身に付けた人材
- ④ 他領域・他分野との研究・教育における融合を推進し、幅広い知識・考え方を修得している人材
- ⑤ 研究により得られた知見や技術、そして経験を社会に還元していくことができる人材



東海大学大学院 体育学研究科

〔課程前期〕学びのスケジュール

分野・領域	授業科目名	必選別	単位数	分野・領域	授業科目名	必選別	単位数
基礎科目	スポーツ科学総論 A (文化社会科学・医科学)	○	2	実践スポーツ科学	実践スポーツ科学特論 A (身体教育)	×	2
	スポーツ科学総論 B (実践スポーツ科学)	○	2		実践スポーツ科学特論 B (健康教育)	×	2
研究法	体育・スポーツ科学研究法 A	○	2		実践スポーツ科学特論 C (コーチング)	×	2
	体育・スポーツ科学研究法 B	○	2		実践スポーツ科学特論 D (心理サポート)	×	2
スポーツ文化社会科学	スポーツ文化社会科学特論 A (哲学)	×	2		実践スポーツ科学特論 E (武道)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論 B (歴史学)	×	2		実践スポーツ科学特論 F (アダプテッド)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論 C (社会学)	×	2		実践スポーツ科学特論 G (ウェルネス)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論 D (心理学)	×	2		実践スポーツ科学特論 H (マネジメント)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論 E (政策)	×	2		実践スポーツ科学特論 I (レジャー)	×	2
	スポーツ文化社会科学演習 A	×	2		実践スポーツ科学演習 A	×	2
	スポーツ文化社会科学演習 B	×	2		実践スポーツ科学演習 B	×	2
スポーツ医科学	スポーツ医科学特論 A (生理学)	×	2	研究ゼミナール	実践スポーツ科学演習 C	×	2
	スポーツ医科学特論 B (バイオメカニクス)	×	2		実践スポーツ科学演習 D	×	2
	スポーツ医科学特論 C (医学)	×	2		体育学研究 1	○	2
	スポーツ医科学特論 D (体力学)	×	2		体育学研究 2	○	2
	スポーツ医科学演習 A	×	2		体育学研究 3	○	2
	スポーツ医科学演習 B	×	2		体育学研究 4	○	2

修了には下記の要件をすべて満たすこと。
 ①「体育学研究総論」「体育学研究法A」「体育学研究法B」および研究指導を受ける教員が担当する「体育学研究1・2・3・4」を修得すること。
 ②合計30単位以上を修得すること。
 ③修士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。

東海大学大学院 体育学研究科

〔課程後期〕学びのスケジュール

分野・領域	授業科目名	必選別	単位数
共通	スポーツ科学研究理論	○	2
	スポーツ科学研究法 A	×	2
	スポーツ科学研究法 B	×	2
専門	高度スポーツ文化社会科学特講	×	2
	高度スポーツ医科学特講	×	2
	高度実践スポーツ科学特講	×	2
	高度スポーツ文化社会科学演習	×	2
	高度スポーツ医科学演習	×	2
	高度実践スポーツ科学演習	×	2
	体育・スポーツ科学特別研究 1	○	2
特別研究	体育・スポーツ科学特別研究 2	○	2
	体育・スポーツ科学特別研究 3	○	2
	体育・スポーツ科学特別研究 4	○	2

近年の
修士論文

- 「スポーツ倫理学の形而上学序説」
- 「高強度ランニング中のランニングエコノミーと下肢動作および筋活動量との関係」
- 「運動前の水素酸素ガス吸入が運動による酸化還元反応に及ぼす影響」
- 「高強度走行中のRunning Economyに優れた大学長距離選手の下肢キネマティクス」
- 「インセンティブプログラム参加者における歩数とWalk Scoreの関連」
- 「熟練度の違いによるサッカーボールリフティングの運動制御について」
- 「捕手の捕球技術に関するバイオメカニクスの研究」

授業科目の紹介

スポーツ文化社会科学領域

スポーツ文化社会科学特論 D (心理学)



人文社会科学科学的アプローチによる研究の基礎的な理論と応用について学びます。

スポーツ医科学領域

スポーツ医科学特論 C (医学)



自然科学的アプローチによる研究の基礎的な理論と応用について学びます。

実践スポーツ科学領域

実践スポーツ科学特論 C (コーチング)



スポーツや運動、身体活動が現代社会に貢献する研究の基礎的な理論と応用について学びます。

授業科目の紹介

スポーツ文化社会科学領域

高度スポーツ文化社会科学演習



人文社会科学科学的アプローチによって問題解決する研究プロセスを演習として学びます。

スポーツ医科学領域

高度スポーツ医科学演習



自然科学的アプローチの手法によるスポーツ科学実験研究のプロセスを演習として学びます。

実践スポーツ科学領域

高度実践スポーツ科学演習



スポーツが現代社会において貢献しうる研究プロセスを演習として学びます。

大学院担当教員一覧

研究指導教員
専門分野〈研究テーマ〉

スポーツ文化社会科学

阿部 悟郎 ABE GORO 体育哲学	教授	M D
松浪 稔 MATSUNAMI MINORU スポーツ史、スポーツ人類学	教授	M D
高尾 将幸 TAKAO MASAYUKI スポーツ社会学	准教授	M D
松本 秀夫 MATSUMOTO HIDEO スポーツ心理学	教授	M D
秋吉 遼子 AKIYOSHI RYOKO スポーツ社会学	講師	M

スポーツ医科学

八田 有洋 HATTA ARIHIRO 運動生理学	教授	M D
山田 洋 YAMADA HIROSHI スポーツバイオメカニクス	教授	M D
宮崎 誠司 MIYAZAKI SEIJI スポーツ医学	教授	M D
内山 秀一 UCHIYAMA SYUICHI 体力学	教授	M D
丹治 史弥 TANJI FUMIYA 運動生理学	助教	M

小山 孟志
KOYAMA TAKESHI
トレーニング科学

笹木 正悟
SASAKI SYOGO
アスレティックトレーニング

実践スポーツ科学

上水 研一朗 AGEMIZU KENICHIRO 武道学	教授	M
栗山 雅倫 KURIYAMA MASAMICHI コーチング学	教授	M
久保田 晃生 KUBOTA AKIO 生涯スポーツ論	教授	M D
押見 大地 OSHIMI DAICHI スポーツマネジメント	准教授	M D
野坂 俊弥 NOSAKA TOSHIYA 健康科学	教授	M D
松下 宗洋 MATSUSHITA MUNEHIRO 運動疫学	講師	M D
吉岡 尚美 YOSHIOKA NAOMI アダプテッド・スポーツ科学	教授	M D
高野 進 TAKANO SUSUMU コーチング学	教授	M
大塚 隆 OTSUKA TAKASHI スポーツ運動学	教授	M
武田 大輔 TAKEDA DAIASUKE 応用・臨床スポーツ心理学	教授	M

森 良一
MORI RYOICHI
保健・健康教育学

内田 匡輔
UCHIDA KYOSUKE
アダプテッド・スポーツ科学

小河原 慶太
OGAWARA KEITA
スポーツバイオメカニクス

大越 正大
OKOSHI MASAHIRO
体育科教育学

岡田 成弘
OKADA MASAHIRO
野外教育

研究指導補助教員
専門分野〈研究テーマ〉

恩田 哲也
ONDA TETSUYA
スポーツ&レジャーマネジメント論

木村 季由
KIMURA HIDEYUKI
コーチング学

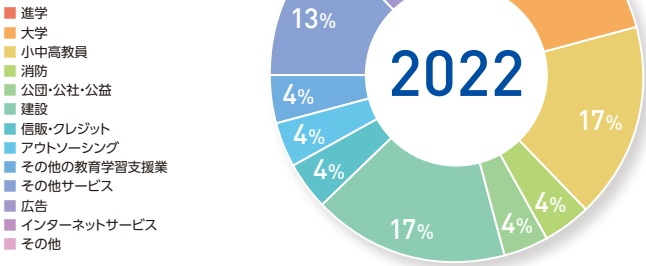
川邊 保孝
KAWABE YASUTAKA
体育・スポーツ経営学

谷木 龍男
YAGI TATSUO
スポーツ心理学

これまでの主な就職先 ※過去の実績

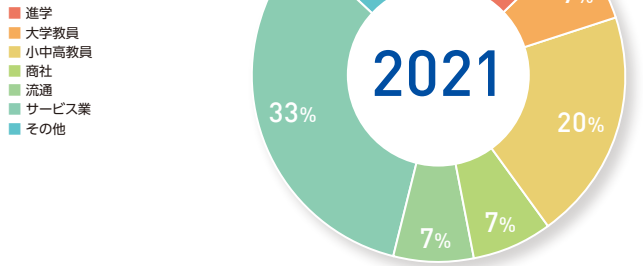
●2022年度 主な就職先・進学先

学校法人東海大学
学校法人和光学園和光大学
学校法人興國学園興國高等学校
相模原市立大野南中学校
小田原市立城北中学校
学校法人龍谷大学
野田市消防本部
公益財団法人日本スポーツ協会
株式会社ヴィクトリーナ姫路
アスレティクス・ジャパン株式会社



●2021年度 主な就職先・進学先

学校法人東海大学
学校法人東海大学東海大学付属相模高等学校・中等部
境町立境第一中学校
伊勢市立桜浜中学校
北関東総合警備保障株式会社
株式会社東急スポーツオアシス
株式会社FOCS
株式会社ティーフランクション
秀和ビルメンテナンス株式会社
株式会社トーセン



INTERVIEW

先輩からのメッセージ



2023年度修了

水島 徳彦さん

小田原短期大学
専任講師

私は、修士課程（現:博士課程前期）から博士課程後期まで、スポーツ競技者にとって「道徳」とはどのようなものかという問いについて、体育哲学という学問的立場から、具体的にカント哲学を手がかりとして、研究を進めてきました。本学の体育学研究科は、自分の学問領域にしっかり没入して研究を進められる環境であるとともに、様々な学問的背景をもつ専門家である先生方や学生とともに研鑽できる、魅力ある場所であると感じています。



2017年度修了

一関 侃さん

NEC レッドロケッツ

学部時代は文学部でありながら、学生トレーナーをしていた私は、「専門知識を深めたい」という想いから体育学研究科へ進学しました。在学中は自身の専門領域を深めると共に、他の領域も学び、それら専門とする仲間と意見を交わすことで、多角的な視点を持つことができ、自身の考えをより深めることができました。



2019年度修了

宇野 真里子さん

一般財団法人 明治安田健康開発財団
健康増進支援センター

現在、子どもから高齢者まで、地域・職域の健康増進に向けてセミナーによる情報提供やツールの開発などを行っています。在学中に学んだ知識と現場経験が、今の仕事の土台に繋がっているのを実感しています。大学院では、学部生の頃以上に様々な研究分野に触れることができ、知見を広める貴重な機会となりました。

奨学金・入学金・学費

大学院研究奨励奨学金（1種・2種・3種）

東海大学独自の奨学金制度。学業成績、人物ともに優秀な学生に対して給付します。

種別	給付
金額	(1種)年額60万円(春学期、秋学期ともに30万円) (2種)年額36万円(春学期、秋学期ともに18万円) (3種)年額12万円(春学期、秋学期ともに6万円)
期間	1年間

日本学生支援機構大学院奨学金

無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、他の奨学金と併用することも可能です。
※収入基準額を超えないこと

第一種奨学金	
種別	貸与(無利子)
金額	修士・博士課程前期……月額5万円、8.8万円から選択 博士・博士課程後期……月額8万円、12.2万円から選択
期間	標準修業年限まで
第二種奨学金	
種別	貸与(有利子)
金額	大学院全課程全学年……月額5、8、10、13、15万円から選択
期間	本人が希望する月から標準修業年限まで
入学時特別増額貸与奨学金	
種別	貸与(有利子)
金額	第1セメスター入学者で条件を満たす者に対して希望により 定額(10、20、30、40、50万円から選択)を増額して貸与

体育学研究科

初年度の学費（2024年度）

入学金	授業料	年間合計
200,000円	711,000円	911,000円

※ただし、東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の出身者（学部卒業生・大学院修了生）の入学金は免除

体育学研究科Webサイト

体育学研究科の詳細やトピックが満載です。
最新情報を適宜更新していますので、随時
ご覧下さい。

